

令和4年9月26日
中部地方整備局
清水港湾事務所
東伊豆町

災害時の「海」と「空」からの支援を目指して

～船舶を活用した物資・被災者輸送訓練、中部地方初となるドローンによる

海上からの物資輸送実証実験を実施します～

- 災害発生時の海からの支援体制を強化するため、清水港湾事務所では、東伊豆町と合同で、10月4日（火）静岡県東伊豆町稲取漁港において、清水港湾事務所所属港湾業務艇※1による緊急物資輸送・被災者輸送訓練を実施します。
- また、災害時の孤立地域発生を想定し、海上に停泊した港湾業務艇から内陸拠点まで、ドローンを用いて緊急物資輸送を行う実証実験を、中部地方で初めて実施します。
- 当日の午後には、訓練・実証実験結果を振り返り、今後の課題等を共有するため、静岡県（伊豆東部）における港湾・漁港を活用した防災ネットワーク推進連絡会議～命のみなとネットワーク形成に向けた取り組み～を開催します。

※1 港湾業務艇：港湾の工事監督や施設点検で使用する船。

1-1. 港湾業務艇による緊急物資輸送・被災者輸送訓練の概要

- 豪雨災害等の災害発生時に陸路による物資輸送等の支援が困難となった場合を想定し、清水港湾事務所所属の港湾業務艇「まさき」に清水港で緊急物資を積載し、稲取漁港にある東伊豆町所有の防災栈橋に着岸、緊急物資の陸揚げ、二次輸送を想定した遊漁船への緊急物資の積み込み等を行います。
- また、災害発生時に当該地域において、観光客等の帰宅困難な被災者が発生した場合を想定し、稲取漁港における港湾業務艇への乗下船の確認等を行います。

1-2. ドローンによる海上（港湾業務艇）からの緊急物資輸送 実証実験

- 災害発生時に陸路による物資輸送等の支援が困難であり、また近隣に荷揚げ可能な港湾施設が存在しない場合を想定し、ドローンに緊急物資を搭載し、海上の港湾業務艇上に設置したドローンポートから、内陸の災害支援拠点に想定した稲取高校まで、緊急物資の空輸を行う実証実験を実施するものです。
- なお、本実験は、国土交通省の行政ニーズに対応したドローンの利活用等に係る技術検討の一環で行うものです。

2. 連絡会議の概要

- 名称 静岡県（伊豆東部）における港湾・漁港を活用した防災ネットワーク推進連絡会議～命のみなとネットワーク形成に向けた取り組み～
- 日時 令和4年10月4日（火） 14時00分～15時00分
- 場所 東伊豆町役場 1階 研修室
- 今回の会議では、当日の港湾業務艇等を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練の結果等を踏まえ、課題の抽出や対応策の検討等を行う予定です。
- 連絡会議は非公開としますが、報道関係者のみ冒頭挨拶（議事開始前）まで傍聴、取材可能です。

3. 当日のタイムスケジュール(予定)

10月4日(火)

8時45分頃 プレス受付
9時00分頃 港湾業務艇着岸、緊急物資輸送訓練
9時40分頃 被災者輸送訓練
10時20分頃 乗船、訓練場所となる海上へ移動
10時50分頃 ドローン実証実験開始
12時30分頃 稲取漁港に帰港
14時00分～ 連絡会議(15時00分 終了予定)

4. 取材の申し込みについて

- 取材を希望される場合は、別紙「取材登録」をご参照いただき、9月29日(木)17:00までに、東伊豆町の取材登録窓口までメールにて申し込みください。
- ドローン実証実験については、清水港湾事務所が用意する実証実験同行船舶の船上からの取材が可能です。船上での取材を希望される場合、乗船名簿の作成が必要になりますので、氏名等は正確な記載をお願いします。また、当日は救命胴衣の着用等にご協力ください(救命胴衣は、清水港湾事務所で準備させていただく予定です)。
- 稲取漁港までの移動、東伊豆町役場への移動にあたっての交通手段については、ご自身で確保をお願いします。
- なお、当日の天候によっては、延期となる可能性がございますので、その場合は、取材の申し込みを頂いた方宛に、10月3日(月)12:00までにご連絡させていただきます。

5. 添付資料

- ① 稲取漁港における港湾業務艇を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練の概要
- ② ドローンによる海上(港湾業務艇)からの緊急物資輸送実証実験の概要

6. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、
下田記者クラブ、港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス、
マリタイムデーリーニュース

7. 問合せ先

※訓練内容等について

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所
沿岸防災対策室 佐藤(さとう)
総務課 屋敷(やしき)
Tel 054-352-4149

※取材登録等について

東伊豆町 防災課 山田(やまだ)、太田(おおた)
Tel 0557-95-1103

メール送信先:bousai@town.higashiizu.lg.jp(東伊豆町 防災課 宛)

取材登録

※取材をご希望の場合は、事前に以下の記載事項を電子メールにて送付いただくようお願いいたします。

【記載事項】

1. 報道機関名

2. 取材者(複数名の場合は全員分)

- ①ご氏名
- ②ご役職
- ③ご年齢(乗船しての取材を希望の場合)

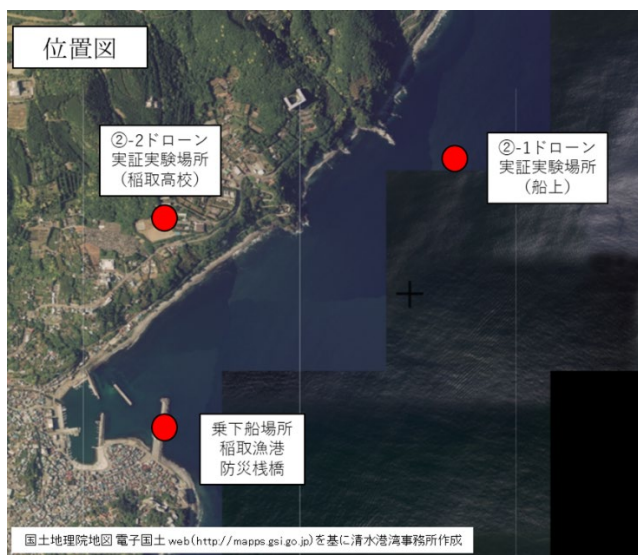
3. 取材のご希望

- ①緊急物資輸送訓練・被災者輸送訓練 有 ・ 無
※稲取漁港岸壁上から取材頂けます。
- ②-1ドローン実証実験(船上からの取材希望) 有 ・ 無
※実験同行船舶から取材頂けます(但し、定員10名まで(先着))。
- ②-2ドローン実証実験(稲取高校での取材希望) 有 ・ 無
- ③連絡会議 有 ・ 無

4. 連絡先

- ①電話番号
- ②当日に連絡可能な携帯電話番号(4. ①と同じ場合は不要)

申込締切: 令和4年9月29日(木) 17:00



①稲取漁港における港湾業務艇による緊急物資輸送・被災者輸送訓練の概要

伊豆半島東部地域沿岸部において豪雨による土砂災害が発生し、陸路による物資輸送等の支援が困難となった場合を想定し、港湾業務艇、遊漁船等による緊急物資輸送訓練および被災者支援訓練を行います。

1. 実施時期 令和4年10月4日(予定)

2. 実施内容

- ①港湾業務艇に積載した緊急物資を稲取漁港に輸送、同港にて荷揚げ、近隣漁港等への二次輸送を想定し、遊漁船に積み込み
- ②東伊豆地区に観光客等帰宅困難な被災者が発生し、近隣港湾までの被災者移送が生じた場合を想定し、港湾業務艇、遊漁船等への被災者の乗下船の確認

3. 使用船舶

中部地方整備局清水港湾事務所所属 港湾業務艇 「まさき」

伊豆漁協 稲取支所所属 遊漁船



稲取漁港(東伊豆町)

緊急物資輸送訓練 実施イメージ



被災者輸送訓練 実施イメージ



②ドローンによる海上（港湾業務艇）からの緊急物資輸送実証実験の概要

災害発生時に陸路による物資輸送等の支援が困難であり、また近隣に荷揚げ可能な港湾施設が存在しない場合を想定し、ドローンに緊急物資を搭載し、海上の港湾業務艇上に設置したドローンポートから、内陸の災害支援拠点に想定した稲取高校まで、緊急物資の空輸を行う実証実験を実施するものです。

1. 実施時期 令和4年10月4日(予定)

2. 実施内容

①東伊豆町トモロ岬沖に停泊した港湾業務艇「まさき」から、ドローンに緊急物資を搭載し、災害支援拠点として想定した稲取高校まで(約2km)の空輸を行い、港湾業務艇を用いた緊急物資輸送に求められるドローン及びドローンポートの運用方法・期待性能の検証を行う。

3. 使用船舶

中部地方整備局清水港湾事務所所属 港湾業務艇「まさき」
(訓練同行船舶)伊豆漁協 稲取支所所属 遊漁船

